Operation Guide 3118

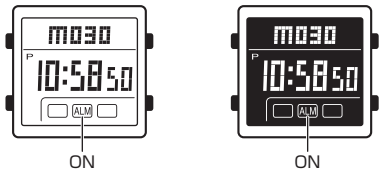
CASIO

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

<Aタイプ>　<Bタイプ>

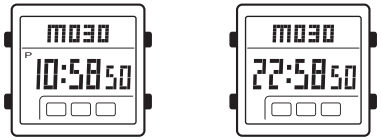


各種設定の切替えについて

本機では、以下の項目の設定を切り替えることができます。設定の切替えは、エディットモードで行ないます（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

- ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- アラーム音のパターン：3種類
- 時刻表示：12時間制／24時間制

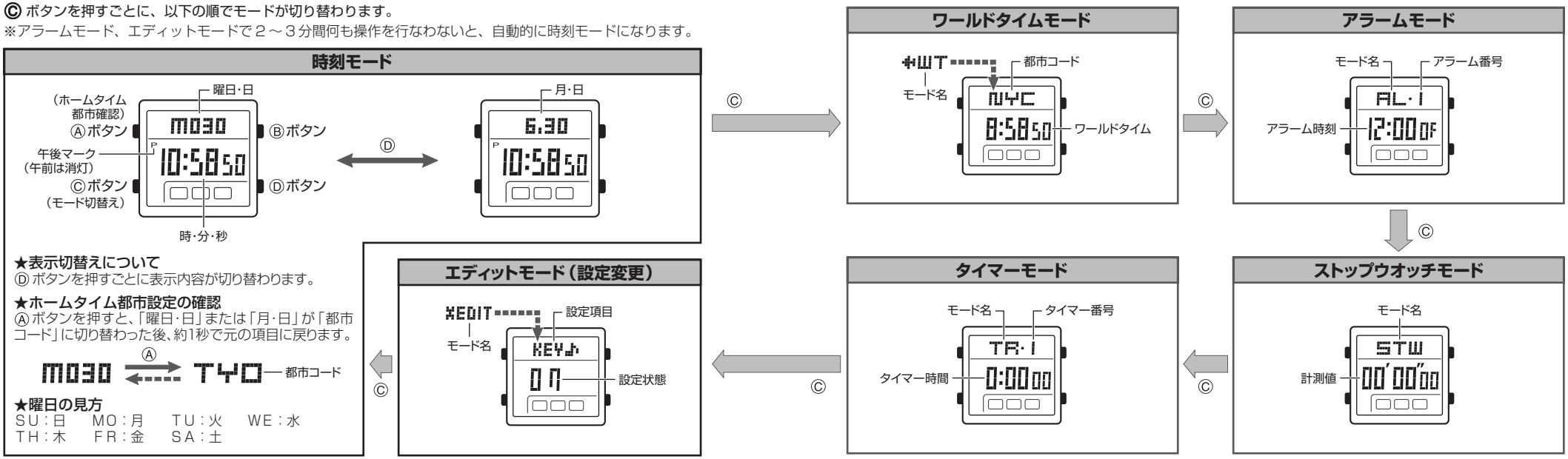
<12時間制>　<24時間制>



- 時刻モードとワールドタイムモードで00秒になったときに表示するアニメ：行なう／行なわない

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、エディットモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。



★表示切替えについて
Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

★ホームタイム都市設定の確認
Ⓐ ボタンを押すと、「曜日・日」または「月・日」が「都市コード」に切り替わった後、約1秒で元の項目に戻ります。

M030 ⇄（Ⓐ）TYO ― 都市コード

★曜日の見方

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

CASIO

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※時刻表示の12/24時間制は、エディットモードの「12/24時間制設定」での設定になります（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

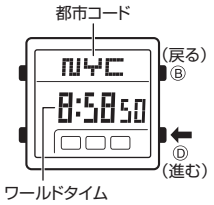
■ご注意■
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
* 確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダー合わせ」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ⒹボタンまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。「時刻モードのホームタイム都市（「操作のしくみと表示の見方」参照）」でこの操作を行なった場合、時刻モードでも「ここでの設定にしたがった時刻」になります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	−10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	−9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	−8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	−8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	−8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	−7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	−6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	MLE	+5	マーレ
NYC	−5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	−3.5	セントジョンズ	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	−1	プライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	+0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2006年12月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

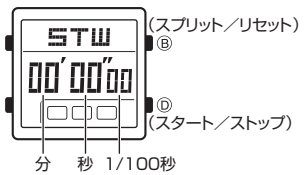
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPLIT" 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

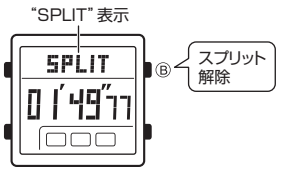
Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

＜スプリット表示中＞



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、アラームモードにします。

時分を設定できるアラームが5本あり、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

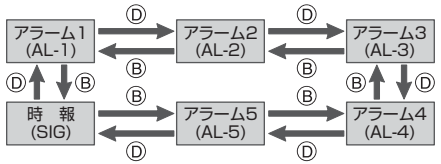
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ・Ⓑ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





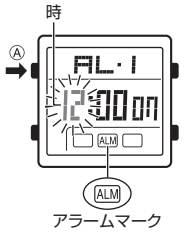
2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

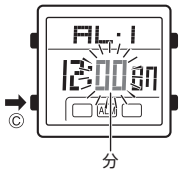
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



3. セット箇所を選ぶ

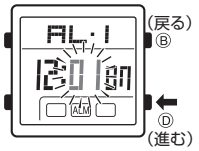
Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※アラーム時刻の12/24時間制は、エディットモードの「12/24時間制設定」での設定になります（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■アラームのON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームのon（ON）／OF（OFF）が切り替わります。

※ on（ON）を選ぶと、アラームが鳴るように設定され、アラームマークが点灯します。
なお、アラームマークは、すべてのアラームが解除される（アラームが鳴る／OF（OFF）に設定する）まで他のモードに切り替えても点灯したままになり、いずれかのアラームが鳴る設定になっていることを表わします。

<アラーム1表示>



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、エディットモードで設定しているアラーム音のパターンで電子音が鳴ります。

■時報について

毎正時（00分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■時報のON／OFF設定

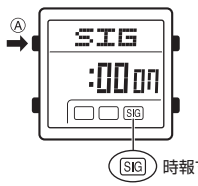
準備：アラームモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報のon（ON）／OF（OFF）が切り替わります。

※ on（ON）を選ぶと、時報が鳴るように設定され、時報マークが点灯します。
なお、時報マークは、OF（OFF）に設定するまで他のモードに切り替えても点灯したままになり、時報が鳴る設定になっていることを表わします。

<時報表示>



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、タイマーモードにします。

1分単位で24時間までセットできるタイマーが3本あり、セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

以下の2種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については、右記の「タイマー時間・タイマー方法のセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

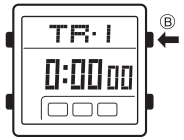
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻って、繰り返し計測を行ないます。

■ タイマー時間・タイマー方法のセット

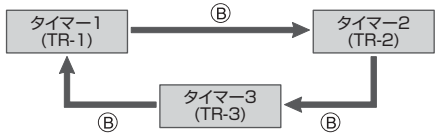
1. タイマーを選ぶ

タイマーモードでリセット状態（セットされているタイマー時間が表示されている状態：「タイマーの使い方（減算計測のしかた）」参照）のとき

Ⓑ ボタンを押します

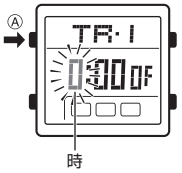


➡Ⓑ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいタイマーを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

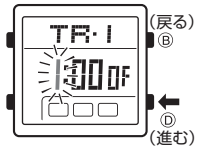


➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



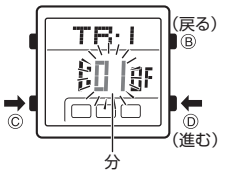
➡Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

4. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

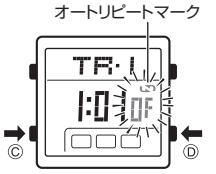


➡Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

5. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

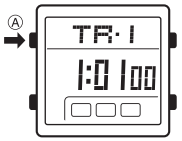


➡Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。

OF：リピートタイマー
on：オートリピートタイマー

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



➡点滅が止まり、セット完了です。

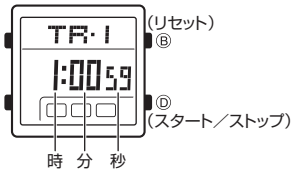
■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓑ ボタンを押して、使いたいタイマーを選びます。

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は1秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓑ ボタンを押すと、タイマー時間の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

各種設定の切替えのしかた(エディットモード)

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、エディットモードにします。

エディットモードでは、以下の項目の設定を切り替えることができます。

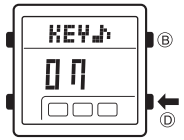
- ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- アラーム音のパターン：3種類
- 時刻表示：12時間制／24時間制
- 時刻モードとワールドタイムモードで00秒になったときに表示するアニメ：行なう／行なわない

■切替えのしかた

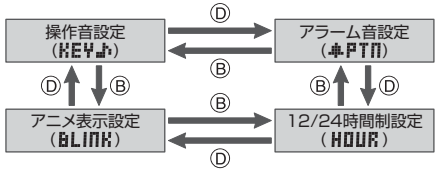
1. 設定を切り替えたい項目を選ぶ

エディットモードのとき

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ・Ⓑ ボタンを押すごとに、以下の順で項目が切り替わります。切り替えたい項目を表示させます。



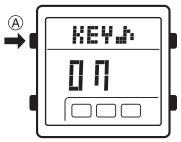
2. 設定を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押して設定を切り替えます。

a.「操作音設定」のときは…

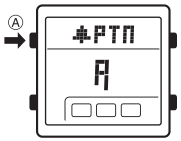
Ⓐ ボタンを押すごとに、操作音のon（鳴る）／OF（OFF：鳴らない）が切り替わります。



b.「アラーム音パターン設定」のときは…

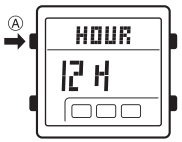
Ⓐ ボタンを押すごとに、アラーム音のパターンが切り替わります。A、B、C の3つのパターンから選ぶことができます。

※実際のアラーム音の鳴り方を確認するときは、Ⓒ ボタンを押してアラームモードにし、「モニターアラーム」の操作を行なってください。



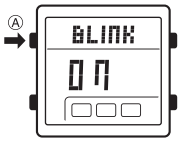
c.「12/24時間制設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



d.「アニメ表示設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに、時刻モードとワールドタイムモードで00秒になったときに表示する時分桁アニメのon（行なう）／OF（OFF：行なわない）が切り替わります。



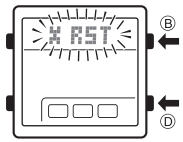
■項目を初期設定にリセットする

《初期設定》

操作音設定：on（鳴る）
アラーム音パターン設定：A
12/24 時間制設定：12H
アニメ表示設定：on（行なう）

エディットモードのとき

Ⓑ ボタンとⒹ ボタンを同時に、約3秒間確認音が鳴るまで押し続けます。



➡“-X RST”と点滅表示し、初期設定にリセットされると、この操作を始めた項目の表示になります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

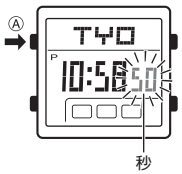
電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

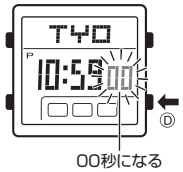
Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 時報に合わせてⒹボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

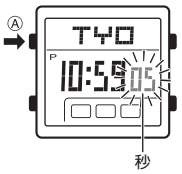
➡点滅が止まり、セット完了です。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます

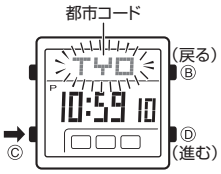


➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡都市コードが点滅します。

Ⓓ またはⒷボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります（「都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡DSTマークとonまたはOFが点滅します。

Ⓓボタンを押します

➡on（ON）／OF（OFF）が切り替わります。

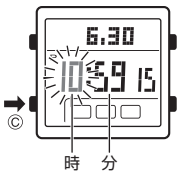
※ OF＝サマータイムOFF（通常時間）
on＝サマータイムON（夏時間）

※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）。

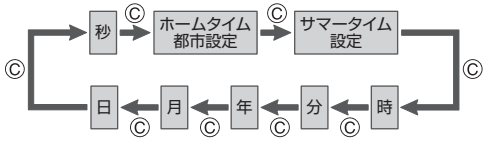
※ ワールドタイムモードの「時刻モードのホームタイム都市（*2.*で選んだ都市）」の時刻は、「ここでの設定にしたがった時刻」になります。

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

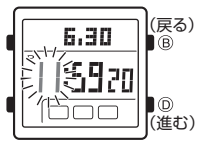
a. Ⓒボタンを押します



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. Ⓓ またはⒷボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※時刻表示の12/24時間制は、エディットモードの「12/24時間制設定」での設定になります（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

※「日」は、一桁（1～9）の場合、01～09と表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。